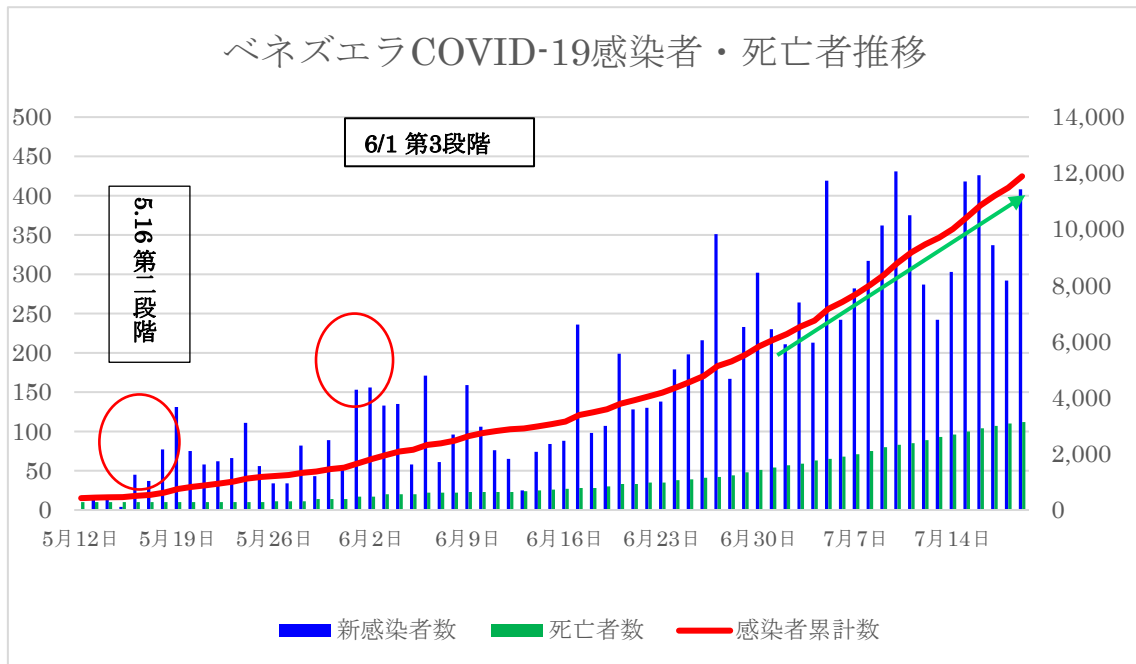


20.06.12 Online 会議資料コロナ感染状況・米国の制裁他

<https://covid19.patria.org.ve/estadisticas-venezuela/>

グラフの中に数字あり



左軸：新感染者数、死亡者数

右軸：感染者累計数

出所：Venezuela MINSAP, Patria blog より新藤作成。

ラテンアメリカ・カリブ海におけるベネズエラの位置 感染者数順

ラテンアメリカ・カリブ海COVID-19 感染状況 6月8日現在資料 World Meter										
国名	人口(千人)	医師数/1万人	乳児死亡率%	感染者数	死亡率/10万人	感染者/10万人	PCR検査数	検査数/10万人	死亡者数	致死率/百人
ブラジル	211,050	49.7	13.2	710,887	1.77	33.68	999,836	47.4	37,312	5.25
ペルー	32,510	44.4	11.6	199,696	1.71	61.43	1,203,985	370.3	5,571	2.79
チリ	18,592	45.1	8.3	138,646	1.22	74.68	728,815	392.0	2,284	1.63
メキシコ	127,576	51.0	11.5	120,102	1.10	9.41	344,375	27.0	14,053	11.70
エクアドル	17,374	49.3	12.5	43,378	2.10	24.97	127,576	73.4	3,642	8.40
コロンビア	50,339	47.9	12.7	40,719	0.26	8.09	421,725	83.8	1,308	3.21
アルゼンチン	44,781		9.2	23,820	0.15	5.27	198,520	44.3	693	2.93
ドミニカ共和国	10,739	14.6	25.0	20,126	0.50	18.74	94,511	88.0	539	2.68
パナマ	4,246	6025	13.9	16,854	0.94	39.69	72,697	171.2	398	2.36
ボリビア	11,513		28.0	13,949	0.41	12.12	38,092	33.1	475	3.41
グアテマラ	17,581			7,502	0.15	4.27	31,427	17.9	267	3.56
ホンジュラス	9,746			6,450	0.27	6.62	21,540	22.1	262	4.06
ハイチ	11,293	0.3	?	3,538	0.05	3.14	7,451	6.6	54	1.53
エルサルバドル	6,454			3,104		4.81	111,274	172.4	58	1.80
ベネズエラ	28,516	60.0	25.7	2,473	0.01	0.87	1,343,336	471.1	22	0.89
キューバ	11,339	81.9	4.1	2,200	0.07	1.94	120,536	106.4	83	3.77
コスタリカ	5,048	28.9	7.8	1,342	0.02	2.66	29,622	58.7	11	0.82
ニカラグア	6,546	10.1	14.8	1,148	0.07	1.75	?	#VALUE!	46	4.01
パラグアイ	7,045	11.6	17.9	1,145	0.02	1.63	38,942	55.3	11	0.96
ウルグアイ	3,462	62.2	7.0	845	0.07	2.44	48,896	141.2	23	2.72
ジャマイカ	2,948	13.2	13.1	599	0.03	2.03	14,802	50.2	10	1.67
ガイアナ	783		26.0	154	0.15	1.97	1,816	23.2	12	7.79
スリナム	581		17.5	130	0.03	2.24	1,165	20.1	2	1.54
トリニダード・トバゴ	1,395			117	0.06	0.84	3,421	24.5	8	6.84
バリーズ	390			19	0.05	0.49	1,741	44.6	2	10.53
中国	1,433,784	17.9	8.0	83,043	0.03	0.58			4,634	5.58
ベトナム	96,462	8.2	16.7	332	0.00	0.03	275,000		0	0.00
米国	2,026,597	25.9	5.7	1,622,670	0.56	8.01	21,727,338		113,061	6.97
日本	126,880	24.1	1.8	17,174	0.07	1.35	224,972	17.7	916	5.33

感染者数が黄色の枠の国は、汎米保健機構（PAHO）が急増していると危惧している国。しかし、ベネズエラは必ずしも急増しているとはいえない。

出所：新藤、各種資料から作成。

ラテンアメリカ・カリブ海におけるベネズエラの位置 死亡率順

ラテンアメリカ・カリブ海COVID-19 感染状況 6月8日現在資料 World Meter										
国名	人口(千人)	医師数/1万人	乳児死亡率%	感染者数	死亡率/10万人	感染者/10万人	PCR検査数	検査数/10万人	死者数	致死率/百人
エクアドル	17,374	49.3	12.5	43,378	2.10	24.97	127,576	73.4	3,642	8.40
ブラジル	211,050	49.7	13.2	710,887	1.77	33.68	999,836	47.4	37,312	5.25
ペルー	32,510	44.4	11.6	199,696	1.71	61.43	1,203,995	370.3	5,571	2.79
チリ	18,592	45.1	6.3	138,846	1.22	74.68	728,815	392.0	2,264	1.63
メキシコ	127,576	51.0	11.5	120,102	1.10	9.41	344,375	27.0	14,053	11.70
パナマ	4,246	6025	13.9	16,854	0.94	39.69	72,697	171.2	398	2.36
ドミニカ共和国	10,739	14.6	25.0	20,126	0.50	18.74	94,511	88.0	539	2.68
ボリビア	11,513		28.0	13,949	0.41	12.12	38,092	33.1	475	3.41
ホンジュラス	9,746			6,450	0.27	6.62	21,540	22.1	262	4.06
コロンビア	50,339	47.9	12.7	40,719	0.26	8.09	421,725	83.8	1,308	3.21
アルゼンチン	44,781		9.2	23,620	0.15	5.27	198,520	44.3	693	2.93
グアテマラ	17,581			7,502	0.15	4.27	31,427	17.9	267	3.58
ガイアナ	783		26.0	154	0.15	1.97	1,816	23.2	12	7.79
エルサルバドル	6,454			3,104	0.09	4.81	111,274	172.4	56	1.80
キューバ	11,333	81.9	4.1	2,200	0.07	1.94	120,536	106.4	83	3.77
ニカラグア	6,546	10.1	14.8	1,148	0.07	1.75	?	#VALUE!	46	4.01
ウルグアイ	3,462	62.2	7.0	845	0.07	2.44	48,896	141.2	23	2.72
トリニダード・トバゴ	1,395			117	0.06	0.84	3,421	24.5	8	6.84
ハイチ	11,263	0.3	?	3,538	0.05	3.14	7,451	6.6	54	1.53
ベリーズ	390			19	0.05	0.49	1,741	44.6	2	10.53
ジャマイカ	2,946	13.2	13.1	599	0.03	2.03	14,802	50.2	10	1.67
スリナム	581		17.5	130	0.03	2.24	1,165	20.1	2	1.54
コスタリカ	5,046	28.9	7.8	1,342	0.02	2.66	29,622	58.7	11	0.82
パラグアイ	7,045	11.6	17.9	1,145	0.02	1.63	38,942	55.3	11	0.96
ベネズエラ	28,516	60.0	25.7	2,473	0.01	0.67	1,343,336	471.1	22	0.89
中国	1,433,784	17.9	8.0	83,043	0.03	0.58			4,834	5.58
ベトナム	96,462	8.2	16.7	332	0.00	0.03	275,000		0	0.00
米国	2,026,597	25.9	5.7	1,622,670	0.56	8.01	21,727,338		113,061	6.97
日本	126,860	24.1	1.9	17,174	0.07	1.35	224,972	17.7	916	5.33

青色は新自由主義政策推進政府。桃色は、反新自由主義政策推進政府。

出所：新藤、各種資料から作成。

COVID-19 関連年表

19.12.08 中国、最初の新型コロナウイルス肺炎感染者が出る。

住民の証言や報道によると、12月下旬ごろから、すでに市内の複数の病院には、発熱などの症状を訴える市民が連日数百人詰めかけていた。

19.12.26 上海市公共衛生臨床センター科研プロジェクトが通常のサンプル収集として、プロジェクトの相手である武漢市中心医院と武漢市疾病制御センターから発熱患者のサンプルを入手し、精密に検査。

19.12.27 パリ郊外ボビニーに住むアルジェリア生まれの40代男性、感染。

19.12.31 中国武漢市、27人が原因不明の肺炎患者と発表。中国政府は同31日に世界保健機関（WHO）に報告。

19.01.05 上海市のセンターは、この病原菌が未だかつて歴史上見たことのない「新型コロナウイルス」であることを突き止める。

20.01.09 中国政府、新型コロナウイルス検出と発表。ウイルスは1月中旬から始まった春

節（旧正月）の帰省ラッシュに乗って拡散

20.01.19 中国政府のシンクタンクの一つ中国工程院院士である鐘南山氏率いる「国家ハイレベル専門家グループ」が武漢市の現状視察に行く。そこで現状を把握した一行は、その日の内に北京に引き返し、中央に報告。

20.01.20 国務院（中央政府）の常務会議が開かれて、この肺炎を B クラスの伝染病と確定した上で A クラスの伝染病（コレラとペスト）の対応を適用し、発生地で責任を負うことが求められる。

20.01.21 武漢市東西湖区市場监督管理局は「市場経営者に告ぐ」という通知を出す。アメリカ国内で初の新型コロナウイルス感染者が、ワシントン州シアトルで確認される。

20.01.23 武漢市に対して封鎖令を発布

20.01.24 欧州での最初の感染例フランスにおいて発生。

20.01.27 ドイツ、上海で働く女性帰国し、感染判明。

20.01.29 イタリア国内で新型コロナウイルスの症例が初めて見つかる。2 人の中国人観光客の感染が判明

20.01.31 新型コロナウイルスの感染者がイギリスで初めて確認された。カナリア諸島のラ・ゴメラ島でドイツ人 1 人の感染が確認された。ドイツ国内の感染者の濃厚接触者だとみられる

20.02.26 ブラジルで最初の感染者確認。

20.02.28 マドゥーロ大統領、感染監察委員会を設置し、その指揮をデルシー・ロドリゲス副大統領が執ることを明らかにする。
メキシコで最初の感染者確認。

20.02.29 エクアドルで最初の感染者確認。

20.03.01 ドミニカ共和国で最初の感染者確認。

20.03.03 チリ、アルゼンチンで最初の感染者確認。

20.03.04 ベネズエラ保健省、国際空港等への入国の際、発生している国からの渡航者は、ベ

ネズエラ入国の際に保健省の係官に症状がないこと等を申告すること、渡航者で感染の症状がある場合には、PCR 検査結果が出るまで隔離措置が行われると発表。

20.03.06 コロンビア、ペルー、コスタリカで最初の感染者確認。

20.03.10 キューバで最初の感染者確認。

20.03.12 マドゥーロ大統領、新型コロナウイルス感染症の拡大に備えて、保健医療システム上の緊急事態を宣言。大規模行事の中止、博物館等密閉空間の公共施設の閉鎖、欧州各国とコロンビアからの飛行機を、15 から 1 ヶ月間、運航中止。大統領は、この 3 週間で 30 件の感染疑い例があったものの WHO の支援の結果、感染していないことが判明し、さらに国内 46 ヶ所の公立病院をコロナウイルス感染者の受け入れ病院に指定。

米政府は、ベネズエラの石油取引を仲介したとして、ロシア石油大手ロスネフチの子会社を独自制裁の対象に指定。

20.03.13 ベネズエラで最初の感染者 2 名確認、その後 5 月 16 日まで一日感染者、30 名を越えず。

マドゥーロ大統領、コロナ対策で警戒宣言を発令。憲法第 338 条

20.03.16 大統領は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、7つの地域において、午前 5 時から、社会的集団隔離を実施することを発表。社会的集団隔離の期間中は、自宅での隔離が求められ、特別な必要がない限り外出は認められない。

20.03.17 ベネズエラ航空当局、国内外の商業便の運航を制限すると発表。制限の対象外は貨物機の離発着だけとなる。

20.03.18 ベネズエラ、IMF に 5400 億円支援要請 新型コロナ対策で。50 億ドル（約 5400 億円）の金融支援を申請

ニカラグア、最初の感染者を確認

20.03.19 IMF、ベネズエラの支援要請拒絶。

20.03.22 マドゥーロ大統領、ベネズエラ政府、コロナにより影響を受けた中小企業の労働者の賃金を 6 か月間支払うと述べる。また解雇の禁止、家賃と銀行貸し付けの返済の即座の停止。600 万人への特別ボーナス 45 万ボリーバルの支給も発表

20.03.23 クリベル・アルカラ（DEA の要員）が秘密裏にベネズエラに搬送する予定の大量の武器が、コロンビア当局により公道で押収される。そのため 23 日～25 日に計画されていた「ギデオン作戦」は、不可能となり、延期される。

20.03.26 最初の死亡者発生。4月20日死亡者10名となる。

米司法省はマドゥーロ大統領及び政権高官ら14人を麻薬テロや麻薬密輸の罪で起訴。マドゥーロ大統領の身柄拘束につながる情報提供には、最大1,500万ドルの報奨金を提供すると発表。

20.03.30 ロスネフチ、ベネズエラ資産を売却 米制裁逃れ狙う。これまでロスネフチの子会社がガソリンをベネズエラ供給。

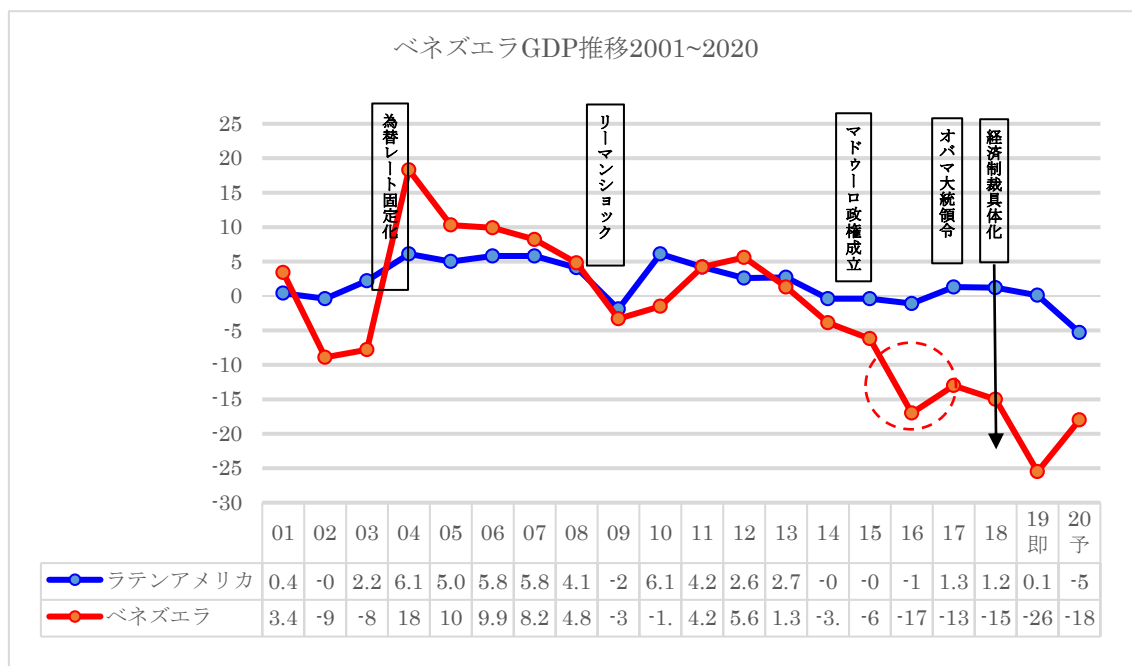
20.03.31 ポンペオ米 국무長官、ベネズエラの政争終結に向け、マドゥーロ、グアイドー両氏とも移行政権には加わらない与野党による「移行政権」樹立を柱とする枠組み案を公表。

20.04.01 マドゥーロ大統領、国家評議会を開き、非常事態宣言を発令。憲法第236条。

20.04.03 ミランダ州チャカオ市のドゥケ市長が、会見で、新型コロナウイルス対策として外出禁止令（Toque de Queda）を開始すると発表

20.04.11 デルシー・ロドリゲス副大統領が、非常事態宣言を、30日間延長すると発表。延長により、現在行われている社会的集団隔離等は、5月11日まで継続。同延長に併せて、航空当局も商用便の運航制限を30日間の延長。

20.04.21CEPAL 2020年ラ米GDP マイナス5.3%、ベネズエラは、マイナス18%と予測。



出所：CEPAL, BCV から新藤作成

20.04.26 ベネズエラ厚生省、コロナ感染者取り扱い手引書を作成、公開。全国一律の取り扱い基準とする。

20.05.02 ベネズエラの刑務所暴動、46 人死亡。同州選出の国会議員マリア・ベアトリス・マルティネス氏によると、暴動は受刑者が脱獄を図ったことが発端

20.05.03 ベネズエラ政府、グアイドーを首謀者とする政権転覆をもくろむ「傭兵」ギデオンの上陸を阻止。上陸集団の 8 名が死亡し、16 人が逮捕されたコロンビアと米国を非難。

20.05.12 マドゥーロ大統領が、ベネズエラ全土で実施している新型コロナウイルス対策の非常事態宣言を、30 日間延長すると発表。この延長により、社会的集団隔離による州や市をまたいだ移動の制限や、商業施設の業務制限、外出禁止措置等が、継続する

20.05.14 米南方軍は、ベネズエラにイランが派遣したタンカー 5 隻のベネズエラ到着を阻止すると発表。

20.05.19 米国、イランからベネズエラに送られた 5 隻の燃料タンカーを阻止するために戦艦 4 隻と偵察機 1 機をカリブ海に派遣。麻薬取締という名目

20.05.21 国連安保理でベネズエラ問題を討議した後、グテーレス国連事務総長は、ベネズエラの長期に継続している主要な政治的アクターが平和的に話し合っただけのみ解決できる、また経済制裁は、パンデミックに取りくむ国の能力を減じることになるので、取り消すように訴える。

20.05.26 政府、5 月 25 日から隔離政策の緩和を実施。

20.05.29 ベネズエラ政府、ガソリンの販売方法、価格を改定。
イランのタンカー 4 隻、ベネズエラでガソリンを積み下ろし。

20.05.30 マドゥーロ大統領、1 日より、外出規制の一部緩和策を実施すると発表。
ウイルス対策緩和期間中、一部の地域を除き、銀行等の一部機関の業務を実施。銀行、建設、医療等の一部経済活動を、業種毎に設けられた時間内で再開する。

20.06.01 ベネズエラ政府と主要野党 G-4 (大衆意志党、正義第一党、民主行動党、新時代党) と汎米保健機構の立ち合いのもとに、コロナ対策で協力することを合意。

ベネズエラ保健省は、新型コロナウイルス対策のための保健省大臣官房決議第 90 号を公表。同決議第 6 条で、外国から入国する際の検疫について、要旨以下のとおり規定。

(1) 出身国に関係なく、入国するすべての人は、入国時に COVID-19 の簡易検査を受けなければならない。この検査で陽性の場合、PCR サンプルを採取する(無料)。

(2) (入国した者は) 国境にある総合社会支援所(PASD)に入った日から 14 日間, 地方自治体と医療チームの監督下で、厳格な検疫のため、必ず隔離される。検査結果が陽性の場合には、医療センターに移送し、治療を開始するとともに、すべての接触者の特定と厳格な医学的監視を行う。

ガソリン価格の改定を試験的に開始。政府の補助を受けた価格は 5,000 ボリバル/1 リットルとする一方で (車両の場合, 月 120 リットルまで, オートバイの場合, 月 60 リットルまで), 国際価格では 0.5 ドル/1 リットルとなる。

20.06.12 ベネズエラ政府、非常事態宣言による隔離を 30 日間延長。この延長により、現在行われている社会的集団隔離による州や市をまたいだ移動の制限や、商業施設の業務制限、外出禁止措置等が、継続することとなる。

感染者の 98%は公立病院で治療。

6 月 6 日、新感染者 171 人のうち、106 人は、外国からの感染者。105 人はコロンビアからの帰国者。タチラ県 101 人、スリア県 3 人、アプレ県 1 人。1 人はコロンビアから帰国の感染者と看護している人。

今年に入り、インフレは、4 月は 341.6%、昨年からの 1 年間で 4,210%と落ち着きつつあった。

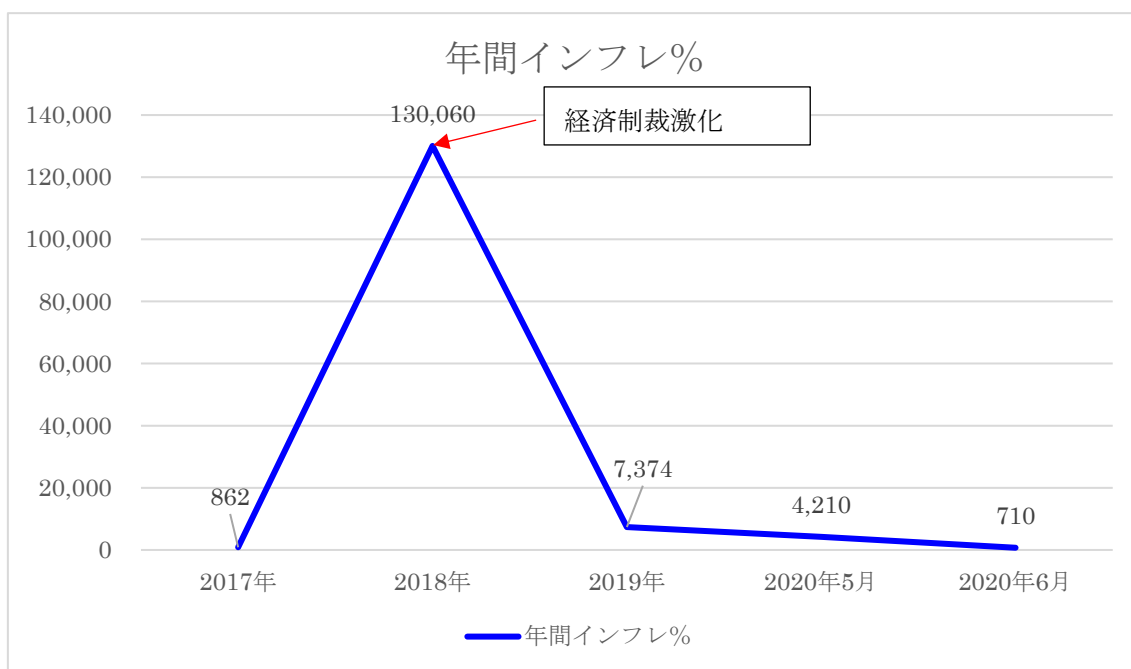
感染者数字の信憑性

新藤調査：ベネズエラの知人 4 人へ直接質問、2 人から回答。

JG: 幸い、ベネズエラでコロナ感染の初期から民間医療機関(公立よりも設備が整っている)と公立診療所、公立病院と協力する体制ができ、厚生省の指導のもとに、協力して対応している。したがって、データーは信頼できる。主要野党からも数字に疑問提出されていない。

VN: 集計の各段階に与野党の関係者がおり、チェックしており、データーは信頼できる。

インフレ状況



18.01.25 IMF、2018年ベネズエラのGDP15%下がり、インフレは13,000%に上ると予測。

18.10.09 IMF、ベネズエラ2019年、1,000万%のハイパーインフレの見込みと発表。(具体的な裏付けなし) Reuters

19.02.23 インフレ、1月は食料品、衛生用品などは、296,14%。金額で552.845,86 Bs. 昨年12月比で増加額は、413.287,07 Bs. 2018年8月からの累計インフレは、10.970,2%。GV

19.06.10 南米ベネズエラの国会は10日、5月のインフレ率が年率81万5194%。5月単月の物価上昇率は31.3%だった。

19.08.22 IMF、インフレが100万%に改善と。差異は900万%。差異900万%の説明なし。

19.10.08 BCVによれば、1-9月のインフレは4.679,50%

19.10.18 BCVによれば、ベネズエラ、GDP マイナス26.8%、インフレ、1-4月4,679.5%と。18年1月からのインフレは4,679,5%。2018年は130.060%、GDPは2013年の半分。

20.01.13 国会、2019年度インフレは7.374,4%。12月のインフレは33.1%。経済ははっきりと回復しつつあるとはいえないが、物資は出回りつつあると報告。EU

20.05.12 国会の財政委員会は、2020年の4カ月のインフレは、341.6%、去年からの1年間で4,210%と発表

20.06.08 ベネズエラ中央銀行、2020年の5カ月のインフレは、295.9%。ベネズエラのロックダウンの3カ月のインフレは76.72%

現在のベネズエラの経済は、モノ不足、高インフレなどが見られ危機的な状況にあります。それらを招いた原因は、歴史的な石油依存体質（レンティスモ）、マドゥーロ政権の政策の誤りもあります。その上、政府の経済危機打開策を国会ですべて否決してしまうMUDの態度も経済の悪化の原因となっています。しかし、こうした危機は、海外からの介入を排してベネズエラ国民により、あくまで話し合いで解決されなければ解決不可能です

対ベネズエラ制裁と干渉年表

▶は、干渉政策、▼は制裁を示す。

1999.02.02~2019.11 までは、前回お渡ししていますので割愛いたします。

19.11.05 ▼OFAC、大統領執行令 13884 号に従いベネズエラ軍・警察関係 5 名の制裁を発表。

19.12.04 ▼米、ベネズエラの石油タンカー 6 隻を制裁指定

19.12.07 ▶米国国務省、ベネズエラの政権移行をグアイドーがいなくても支持すると。

19.12.10 ベネズエラにおける組織的な拷問尋問にキューバ人が参加しているという報告書、OAS で流布される。Calsa 研究所編集。

20.01.05 ベネズエラ国会、議員総数 167 人のうち、151 名の議員が出席（定足数 112 名）、81 名の支持を得て、新指導部を選出。国会議長ルイス・パルラ Luis Parra（正義第一党）、第一副議長フランクリン・ドゥアルテ Franklyn Duarte（キリスト教民主党）、第二副議長ホセ・グレゴリオ・ノリエガ（大衆意志党）、書記ネガル・モラーレス Negal Morales（民主行動党）、副書記アレクシス・ビベネス Alexis Vivenes（大衆意志党）を選出。

20.01.09 ▶エイブラムス米ベネズエラ問題担当特使は、「多額の資金をベネズエラの反政府勢力に供給してきた。グアイドー合法政府とは、ベネズエラの自由な新聞活動の支援、国会の支援について合意があり、主として USAID を通じて、また民主主義・人権事務所を通じて資金を供給している」と述べる。

20.01.13 ▼米財務省 la Orden Ejecutiva (E.O.) 13692 に従い、パルラ他 7 名の新国会指導部を制裁対象にする。ベネズエラ外務省、不当と抗議。

スペインのポデモス党、ベネズエラの新国会指導部を支持すると声明。

20.01.14 ▼米国の制裁で、ベネズエラ 400 億ドルの損失を被る。UN

20.01.20 ▶パルラ国家議長は、「米国開発庁 USAID は、2017 年から現在まで 4 億 6,700 万ドルを反政府勢力に渡したが、グアイドー議員は、そのうち 19 年 1 月から 1 億 8,000 万ドルうけとっている」と指摘しつつ、議会に「USAID による反政府勢力に対する人道支援資金の使用についての調査委員会を設置するよう」に提案。また、米政府に、USAID の資金が渡されたルートを国会に明らかにするよう要請（Últimas Noticias）

20.01.23▶エイブラムス米ベネズエラ問題担当特使、グアイドー達野党に多額の資金を供給したが、使途が不透明であると述べる。Reuters

20.01.30 ▶グアイドー、イギリス外相ジェレミー・ハントと会談。ハント外相、グアイドーの活動を支持すると。この会議に、元在ベネズエラ・イギリス大使、ジョン・サービル同席。FCO「ベネズエラ再建チーム」部長として同席。ベネズエラ体制変換を目指す。20.05.14 UN—20.02.05 ▶ベネズエラの野党指導者グアイドー国会議長が米国のホワイトハウスでトランプ大統領と会談。

20.02.08 ▼米、ベネズエラ国営航空コンビアサ航空を制裁。マドゥーロ政権に圧力。制裁に伴い保有する航空機などの資産が凍結され、米国人との取引が禁止される。米国行きの便も運航できなくなる。同企業に勤務する40名のパイロットも制裁対象のリストに加えられた。ロイター。

20.02.18 ▼米、露石油大手ロスネフチを制裁。ベネズエラ政権支援で。米財務省は、ロシアの石油大手ロスネフチのスイスを拠点とする子会社とその代表者を制裁対象に指定したと発表。ロイター通信によると、露外務省は「ベネズエラとの取引を抑制しない」と反発。ベネズエラのアレアサ外相は「米国の制裁は一方的で攻撃的」と非難した。制裁の対象となったのはロスネフチの子会社「ロスネフチ・トレーディング」と同社のカシミロ取締役会長兼社長。トランプ政権高官によると、同社はベネズエラ産原油の約70%の輸送に関与。既に米制裁の対象となっている国営ベネズエラ石油（PDVSA）に代わり、ベネズエラ産の石油を西アフリカに輸出するなどしたとされる。今回の制裁で、ロスネフチ・トレーディングとカシミロ氏の米国内の資産は凍結され、米国人との取引も禁じられる。

20.02.24 ベネズエラ国民の82%、米国政府のベネズエラに対する一方的な制裁に反対。TS

20.03.06 ▼ベネズエラ産原油、インド荷主、輸入削減へ。制裁リスク、手控え加速も。ベネズエラ国営石油会社PDVSAの主要顧客であるインドの用船者（荷主）が4月以降、輸入削減を計画。

20.03.10 ▶ムニューシン米財務長官、ロシア大使に「秩序ある」石油市場求める。米財務省は声明で、ムニューシン長官とアントノフ大使が加えて、「制裁プログラムの順守やベネズエラの経済状況、貿易と投資の可能性」についても議論したことを明らかにした。

20.03.12 ▼米政府は12日、ベネズエラの石油取引を仲介したとして、ロシア石油大手ロスネフチの子会社を独自制裁の対象に指定した。米国内の資産が凍結され、米国人との取引が禁じられる。財務省によると、制裁対象になったのはスイスに拠点を置く「TNKトレーディング・インターナショナル」。ムニューシン財務長官は声明で「トランプ政権はマドゥーロ政権によるベネズエラ石油資源の略奪を支援する勢力を標的にし続ける」と強調。

20.03.18 ▶ベネズエラ、IMFに5400億円支援要請。新型コロナ対策で、50億ドル（約5400億円）の金融支援を申請するも、翌日IMF、支援を求めた独裁的なマドゥーロ政権の正統性を疑問視し、ベネズエラの支援要請拒絶。

20.03.26▼米司法省は26日、マドゥーロ大統領他政権高官ら14人も起訴した。バー司法長官は声明で、「20年以上にわたり、マドゥーロと政権高官はコロンビア革命軍（FARC）と共謀し、コカインを米国社会に持ち込んだ」と主張し、「本日の発表はベネズエラ政府内に広がる汚職を根絶することに焦点を当てた」と述べる。マドゥーロ氏の身柄拘束につながる情報提供には、最大1500万ドルの報奨金を提供した。米司法省は、ベネズエラのパドリノ国防相、カベージョ制憲議会議長、モレノ最高裁長官らのほか、コロンビア革命軍（FARC）幹部も、ニューヨーク、ワシントン、フロリダ州マイアミの各連邦地裁に起訴された。カベージョ議長らに関する情報提供にも、1,000万ドル（約11億円）の懸賞金を出す。

20.03.28 ロシア国営石油ロスネスチ、ベネズエラへのガソリン輸出を止める。

20.03.30 ロシア国営石油ロスネフチ、ベネズエラ資産を売却。米制裁逃れ狙う。ロスネフチは28日、同社が保有するベネズエラの資産を売却すると発表。

20.03.31 ▶米、ベネズエラ「移行政権」提示。制裁解除の条件に。ポンペオ米 국무長官は、ベネズエラの政争終結に向け、マドゥーロもグアイドーの抜きにした与野党による「移行政権」樹立を柱とする枠組み案を公表した。条件が満たされれば制裁を解除するとしているが、米国が正統性を否定するマドゥーロ大統領が権力を手放すことも求めており、マドゥーロ政権は即座に拒否した。

20.04.01 ▶トランプ米大統領は1日、麻薬カルテルやベネズエラのマドゥーロ政権への圧力を高めるため、カリブ海への海軍艦艇と空軍機の配備を増やすと語る。大統領はホワイトハウスで記者団に対し、中南米やカリブ海地域の麻薬カルテルは、米国が直面する新型コロナウイルスの危機に付け入ろうとしており、こうした動きを阻止するため麻薬密輸の取り締まりや監視を強化する必要があると訴えた。

20.04.13 イランとベネズエラ、大統領が電話会談。米の制裁を非難。イランのロウハニ大統領は13日、ベネズエラのマドゥーロ大統領と電話で会談し、両国に対する米国の制裁は不当と非難した。

20.04.22▼米財務省外国資産管理室（OFAC）、シェブロン社のベネズエラでの石油生産を事実上禁止。油田サービス会社4社もベネズエラでの事業停止の対象に。石油メジャーの米シェブロンに対し、12月1日までにベネズエラでの事業を事実上停止するよう命じた。

20.05.03 ▶ベネズエラ政府、グアイドーを首謀者とし、米国に支援された政権転覆をもくろむ「傭兵」ギデオン作戦の上陸を阻止。上陸集団の8名が死亡し、16人が逮捕されたコロンビアと米国を非難。ベネズエラ与党・統一社会党（PSUV）のディオスダード・カベージョ副党首は、襲撃は、米政府と米麻薬取締局（DEA）が「画策」し、米国の忠実な同盟国であるコロンビアが支援した作戦だったと非難した。

20.05.04 ▶グアイドー、セルヒオ・ベルガラ、フアン・ホセ・レンドンが署名した米国のシルバーコープ社との間の政権転覆契約書、公開される。グアイドー、関与を否定するも、契約書のサインあり、サインの際の録音も公開される。

20.05.08 ▶トランプ大統領は、事件と米政府とは何の関係もないと関与を否定しつつ、「もしいつか何らかの介入にゴーサインをだすとすれば、軍事『侵攻』となるだろう」とうそぶく。

20.05.14 ▶米南方軍は、ベネズエラにイランが派遣したタンカー5隻のベネズエラ到着を阻止すると発表。戦艦4隻と偵察機1機をカリブ海に派遣。麻薬取締という名目。

20.05.19 ルイス・パルラ（正義第一党）国会議長、米国やその他の政府の対ベネズエラ制裁は、ベネズエラの政治的、経済的、社会的危機を悪化させた。今、ベネズエラはコロナのロックダウン禍で最大の危機を迎えている。その意味で、制裁を支持しているグアイドーや、G-4（大衆意志党、正義第一党、民主行動党、新時代党）などの野党勢力は、経済危機の責任を問われなければならないと非難。

▼米国、スペインの石油会社レプソルがベネズエラで活動していることを批判。マウリシオ・クレイバー＝コロナ米国安全保障会議米州局長は、レプソル、イタリアのENI、インドのリライアンス社にベネズエラの石油の販売を止めなければ制裁を科すと述べる。

▼米財務省は、米国の制裁対象となっているイランの民間航空会社「マハン航空」と取引をしていたとして、中国企業1社を新たに制裁対象に指定したと発表。米国内の資産が凍結され、米国人との取引が原則禁じられる。

20.05.20 国連安保理事会でグテレス事務総長、ベネズエラに対する米国の制裁は、パンデミックに対する力を弱めるので止めるよう述べる。

20.05.25 最高裁判所、ルイス・パルラを国会議長として承認。

20.05.27 ベネズエラ、イギリスにより差し押さえられている金を国連に渡すよう要請。

20.06.01 ベネズエラ政府と主要野党 G-4（大衆意志党、正義第一党、民主行動党、新時代党）と汎米保健機構の立ち合いのもとに、コロナ対策で協力することを合意。

20.06.05 ▼米財務省、ルイス・パルラ国会議長を国会権限を無法に掌握したとして制裁を科

す。

20.06.11 ベネズエラ、イギリス政府のベネズエラ再建チームの創設をベネズエラ政府が受け入れたという報道を批判。

(2020年6月12日 新藤通弘作成)